

創業以来、南九州の酪農家たちの 夢と情熱を受け継ぎつつ さらなる可能性を求め次の時代へ。



会社概要

会社名	南日本酪農協同株式会社 (MINAMI NIHON RAKUNO KYODO CO., LTD.)
本社所在地	〒885-0073 宮崎県都城市姫城町 32 街区 3 号
代表者	代表取締役社長 有村 義昭
設立	1960 (昭和 35) 年 7 月 29 日
資本金	4 億 8 千万円
従業員数	482 名 [男子 373 名、女子 109 名] (令和 6 年 2 月 29 日現在)
事業内容	牛乳、乳製品等の製造および販売
売上高	351 億円 (令和 5 年度)
株主	鹿児島県酪農協同組合、宮崎県南部酪農協同組合、 デリー会 (従業員)
主な取引銀行	農林中央金庫、鹿児島銀行、宮崎銀行

役員

代表取締役社長	有村 義昭
常務取締役	鬼塚 香 (営業担当)
〃	福田 祐作 (生産担当)
〃	大原 国男 (管理担当)
取締役	岩元 博幸 (市乳部長)
〃	竹之内 利文 (経理部長)
〃	関 由紀也 (製造部長)
〃	百丸 俊昭 (経営企画部長)
〃	池田 利弘 (非常勤)
〃	牧原 浩一 (非常勤)
〃	小藺 千弘 (非常勤)
〃	花吉隆 文 (非常勤)
常勤監査役	山村 正信
社外監査役	福添 誠 (非常勤)
〃	繁松 秀二 (非常勤)
執行役員	早崎 之公 (酪農購買部長)
〃	前原 伸一 (乳食品部長)
〃	仮屋 正二 (総務部長)
〃	花村 和夫 (都城工場長)

- 1960 ● 都城市姫城町に宮崎県南部酪農業協同組合の設備を引き継ぎ、南日本酪農協同（株）を設立
昭和 35 年
- 1966 ● 鹿児島地区の売上拡大に伴い、始良郡始良町に鹿児島工場を新設（平成 2 年工場再編に伴い、工場閉鎖）
昭和 41 年
- 1968 ● 大消費地に販路を求め、大阪営業所を設立（昭和 49 年支店昇格）
昭和 43 年
- 1969 ● 乳製品専門工場として鹿屋市笠之原町に鹿屋工場を新設
昭和 44 年
- 1971 ● 製品開発並びに技術情報の拠点として、大阪研究室を大阪市南区高津町に開設
昭和 46 年
- 醗酵乳に炭酸ガスを封入した画期的な乳性炭酸飲料「スコール」を開発
- 1972 ● 鹿屋工場にスコール瓶充填ライン設備を設置、スコールを本格的に販売開始
昭和 47 年
- 東京事務所を港区赤坂に開設（平成 4 年支店昇格）
- 1976 ● LL 牛乳中心の総合基幹工場として、都城市高木町に都城工場を新設、本格的な LL 工場としては、我国最大となる
昭和 51 年
- 1977 ● 福岡営業所を開設（平成 4 年支店昇格）本格的な LL 牛乳の販売に着手
昭和 52 年
- 1982 ● 都城工場にクワーク及びヨーグルト設備を新設
昭和 57 年
- 種子島酪連工場を吸収合併（平成 19 年工場再編に伴い、工場閉鎖）
- 1985 ● 乳製品乳酸菌飲料（殺菌）「ヨーグルッペ」を開発、発売
昭和 60 年
- 日本で初めてチューブ入りコンデンスミルクを開発、発売
- 1987 ● 乳製品の安定供給を図るため、日本ネスル社の日高乳業（株）・日高工場を買収
昭和 62 年
- 屋久島に天然水の充填工場を新設し、「屋久島縄文水」を発売
- 1988 ● （有）都城冷菓を買収（現、デーリィ販売（株））
昭和 63 年
- ホテル屋久島を買収（平成 12 年に譲渡）
- 1990 ● リキュール類の免許（酒製造）を取得し、クリームリキュール「ミルクイーランド」を発売
平成 2 年
- 日高乳業を北海道日高乳業（株）と改称し、缶ラインを増設
- 1991 ● 体験牧場、高千穂牧場をオープン
平成 3 年
- 本社ビル竣工（4 月）
- 1994 ● ニシラク乳業（株）の経営に参画
平成 6 年
- 1995 ● 北海道日高乳業モッツァレラチーズを本格生産・発売開始
平成 7 年
- 1998 ● 都城工場の HACCP システム、厚生大臣承認取得
平成 10 年
- 軽量容器ポリボトルの小型容器を開発、乳飲料を発売
- 大阪研究所を都城に移転
- 1999 ● 鹿屋工場の HACCP システム、厚生大臣承認取得
平成 11 年
- 2003 ● 本社・都城工場が ISO 14000 1 認証取得
平成 15 年
- 2012 ● 本社・都城工場が、食品安全マネジメントシステム「FSSC 22000」を認証取得
平成 24 年
- モンゴル乳製品由来の乳酸菌研究を深化させ LP 432 乳酸菌を用いた醗酵乳・乳酸菌飲料を発売
- 2014 ● 鹿屋工場が、食品安全マネジメントシステム「FSSC 22000」を認証取得
平成 26 年
- 2015 ● 日本コカ・コーラ社とライセンス契約を締結し、コカ・コーラ社が自販機にてスコールの販売を開始
平成 27 年
- 2016 ● ポリボトル製品の増産体制強化を図るため、都城工場にポリボトル充填機ラインを追加導入
平成 28 年
- 2017 ● 都城工場に LL ミニラインを更新し、LL 設備の合理化を図る
平成 29 年
- 2018 ● 省エネ及び CO2 排出量抑制などの環境対策を推進するため、都城工場で使用する燃料を都市ガスに転換
平成 30 年
- 2019 ● ポリボトル容器の安定供給を目的に、鹿屋工場にポリボトル成型機を増設
令和元年
- 2020 ● 社史「60 周年記念誌」発行
令和 2 年